

佐高・国際人ファイル



ここに2人の留学生がいる。岡村咲良；8月末から来年6月までの約10ヶ月間、ロシアへバレエ留学、イザベラ ハイน์リヒ；今年3月から7月末までの約5ヶ月間、ドイツのニュルンベルクから日本の佐野へ。2人は同じクラスで1学期を過ごし、夏休みを境に、それぞれの世界へ旅だつてゆく。

岡村 咲良・プロフィール

- ・4歳からバレエを始める。
- ・2013年(附属中3年)：キョフ バレエアカデミー(アメリカ、ワシントン DC)に3週間留学。
- ・2014年(高校1年)にカザフスタン共和国のバレエ学校に1ヶ月留学。
- ・2015年3月、ジャパン バレエ コンペティションで3位入賞および審査員特別賞受賞。その際、審査員に声をかけられ、ロシアにあるクラシックバレエ界の最高峰の学校「ワガワ・バレエ・アカデミー」をビデオ審査で受験し、見事合格。毎年4千人以上が受験し60人しか選ばれないという狭き門を突破した。



国際文化交流フェスティバルにて

イザベラ ハイน์リヒ・プロフィール

- ・ドイツのニュルンベルク在住。小学校(4年間)の後、Johannes-Scharrer-Gymnasium(ギムナジウム：8年間)に進学。
- ・日本のアニメ(ナルト、ワンピース)を見て日本に興味を抱く。また、刀が出てくるアニメ『BLEACH』(ブリーチ)の影響で剣道を習い始める。
- ・剣道から日本の礼儀作法や伝統を学び、ぜひ、本物を見てみたいと思い、去年の夏休みに来日。東京、京都、箱根、広島を旅する。日本人の普段の生活を体験するため、3月から交換留学生として佐野でホームステイを始めた。



ギムナジウムの同級生

留学生にインタビュー

岡村 ^{さくら} 咲良さん

Q1：ロシアの「ワガノワ・バレエ・アカデミー」に合格したときはどんな気持ちでしたか？

A：1学期中間試験中に合格の連絡がありました。「ワガノワ・バレエ・アカデミー」は、世界の最高峰に位置する学校だったので、そこに行くのが夢でした。「夢がかなった」と、とてもうれしく思いました。

Q2：高校1年時、カザフスタンへ留学したときは、何が大変でしたか？

A：ロシア語がまったくわかりませんでした。しかし、友人がロシア語を英語に訳して教えてくれたので、何とかなりました。しかし、今度の留学は長期なので、ロシア語を話せるようになりたいと思っています。

Q3：留学先で日本人と外国人とでは、どんな違いがありますか。

A：外国人はいつも積極的で、自己主張しています。しかし、そういう中で生活していると、自分も慣れてきて、抵抗なく自己主張することができるようになってきます。

Q4：将来の夢はバレリーナになることですか？

A：とにかく、バレエで行けるところまで行きたいと思っています。海外で活躍したいです。



国際文化交流フェスティバルにて

イザベラ ^{HEINRICH} ハインリヒ (Isabella HEINRICH) さん

Q1：日本で好きなものは何ですか？

A：食べ物ではたこ焼き、唐揚げ、佐野ラーメンが好きです。茶道、華道、書道を体験することができました。また、「ルパン三世」の実写版の映画も見ました。

Q2：日本とドイツを比べると、どのような違いがありますか？

A：ホストファミリーでは、小学生が遅くまで塾に通っています。これは驚きました。コンビニが24時間営業なのにも驚きました。ドイツでは店は8時には閉まります。また、日本では先輩に敬語を使うことです。ドイツでは先生に対しては敬語を使いますが、高校の生徒どうしでは先輩や後輩の区別はなく、敬語も使いません。

Q3：日本の高校の授業は、ドイツとはどこが違いますか？

A：ドイツの授業中は、必ず手を挙げて答えます。授業の最初には、一人が指名され前回習ったことを答えなければいけません。また、英語、フランス語、数学、物理、経済の授業は定期試験がありますが、化学や生物、美術などは、抜き打ちテストで評価されます。

Q4：将来の夢は何ですか？

A：私は医者になりたいと思っています。勉強は大変ですが頑張ります。

Q5：これからロシアに留学する岡村さんに何かアドバイスを！

A：大変な時もあきらめずに頑張り、いろいろな事に挑戦して、ロシア文化を体感してください。

*2学年会で発表しました。

*インタビュー協力
磯部さんと若田部さん

